

新型エスティマでいく
瀬戸内紀行

USHIMADO
>>HINASE
with ESTIMA



やわらかな風が頬を撫でる。
春の光に誘われて、牛窓、備前、日生と
巡る極上の瀬戸内クルージング。
パートナーは新しいエスティマ。
先進の快適仕様がドライバーの
五感を心地よく刺激する。

海へ。

陽春の牛窓〜日生

◎瀬戸内市牛窓町

牛窓

まばゆい光、春の風…
懐かしさと温かさに触れる。

岡山から真新しいエスティマを走らせブルーライン経由で牛窓へ。懐かしい日本の原風景と、鮮やかな地中海の風景が交差する牛窓は、古くから潮待ち、風待ちの要所として栄えてきた港町。江戸時代には備前の代表的な港、見島下津井と並んで西国通商の港として名を馳せてきた。

港近くの「しおまち唐琴通り」を歩くと、今も往時の面影が至る所に残っている。白壁の土蔵、格子窓のある家、焼板の塀、造り酒屋…。朝鮮

通信使が立ち寄った足跡も多く、街角を歩くと地元の人々が気さくに声をかけてくる。ここはまさに人情の港町だ。海へ目をやると、まばゆい太陽と潮風が心地よい極上のリゾート地としての牛窓に触れることができる。「オリーブ園」から臨む瀬戸の多島美、沖を行き交うヨットのシルエットはまさに絶景。景色を堪能した後は、「寒風陶芸会館」で土ひねりに興じるのもいい。陶芸家気分が夢中になって土と戯れると時間が経つのも忘れるほどだ。お腹が空いたら、フェリー乗り場近くの「ココロ食堂」へ。この名物は「あなご丼」。香ばしく焼き上げたあなごがたっぷり入った逸品。甘めのタレが白いごはんによく合う。味のしみ込んだおでんや焼き魚やイカの煮付けといった手作りの惣菜にも、つついそそられてしまう。牛窓の味が実感できる食堂だ。



しおまち唐琴通り

本蓮寺、洋館、映画のロケ跡。
歩くだけであの頃に帰れる。

江戸時代や昭和30年代の面影を残す古い町並み。本蓮寺、明治時代の洋館、映画のロケ地跡、燈籠堂、牛窓海水浴場、牛窓神社など、のんびり訪ねてみたい。

瀬戸内市牛窓町牛窓



懐かしい面影が今も残っている牛窓は映画「カンゾー先生」「黒い雨」のロケ地にもなった。町の一角に昔の看板を集めた町角やロケに使ったセットが今も残されている。

ミティリニ広場

パーゴラのベンチで
ちょっと一息。眺めは最高。

ギリシャ、レスボス島ミティリニ市との間で調印された友好都市縁組15周年を記念して作られた広場。ギリシャの神殿跡をモチーフにしている。ちょっとした休憩や記念撮影ならここで。オリーブ園に上がるオリーブロード沿いにある。



牛窓オリーブ園

丘から見渡す瀬戸内の眺めはまさに絶景。

緩やかな山の斜面15haにわたって、約2千本のオリーブが茂る日本を代表するオリーブ園。展望台からは穏やかな瀬戸内海が一望できる。四季折々の風景が楽しめるがオリーブの花が咲く6月初旬が見頃。

瀬戸内市牛窓町牛窓413-2
☎0869-34-2370 営9:00～18:00(12月～3月は17:00まで) ㊿なし